

100歳おめでとうございます

2月に満100歳を迎えた皆さんに、市長からのお祝い状とお祝い金が贈られました。



江上 クニエさん
大正7年2月13日生



山中 春子さん
大正7年2月15日生



後藤 可登士さん
大正7年2月16日生



夫婦で快挙を達成 熊本県茶振興大会

2月6日、熊本県経済連で行なわれた平成29年度熊本県茶振興大会で工藤隆行さん・実代子さん夫妻（黒松区）が蒸製玉緑茶の部で、実代子さんが最高位の特等、隆行さんが二等を受賞しました。今回、出品した品種は「さえみどり」で名前の通り、冴えた鮮やかなグリーンの水色と上品な香り、渋みが少なく、旨みが非常に多いことが特徴。工藤さん夫妻は「皆さんに喜んでいただけるよう励みます」と笑顔で語りました。



これからも夫婦でおいしいお茶を作り続けます

内外テック株式会社 工場を移転拡張

1月30日、熊本県庁で内外テック株式会社および同社子会社である内外エレクトロニクス株式会社と熊本県の立会いのもと、企業立地協定を締結しました。

同社は事業計画で、半導体製造装置の組み立てや保守メンテナンス事業の拡大を目的としてセミコンテクノパーク（福原）内の遊休工場を取得し、約3億8,900万円の設備投資と10人の新規雇用を予定しています。



企業立地協定を締結しました

夢や可能性は無限大 西合志東小で里帰り講話

2月6日、西合志東小学校で設計事務所を営み、イラストレーターやエッセイストの肩書を持つ海老沢小百合さんが自身の経験をもとに仕事や夢について講演しました。これは県の里帰り講話事業の一環として、開催したものです。海老沢さんはデザインした作品の写真を見せながら、大手企業や海外で行なった仕事を講演。児童たちに「希望のハンドルを握って自分自身を夢に向かって連れて行くことが大事」と語りました。



海老沢さんが着用してる洋服も自身でデザイン

合志市の農業を担う若者たちを激励

1月30日、新規就農者への激励を兼ねて就農奨励金交付式を行ない、6人の新規就農者が参加しました。

式では新規就農者から「小さい頃から両親の姿を見ていつかは農業に従事したいと思っていましたが、他の仕事で社会勉強を積んで就農することを決めました」「地域農業をけん引できるよう頑張っていきたい」「よい品種の作物を栽培したい」など、それぞれの就農にいたる決意や今後の熱い抱負を語りました。



私たちが市の農業を引っ張っていきます

豊かな収穫を願って 葉たばこ播種祭

1月30日、御代志のガラスハウスで葉たばこの播種（種まき）が行なわれました。

種まきは、市内の葉たばこ農家20戸が毎年この時期に実施しています。水を張ったバケツにつまようじの先程の小さな種を入れ、その水を苗床にまいて行なっています。作付け面積約35ha分の収穫を左右する大事な作業だけに、農家の皆さんも真剣なまなざしで作業に取り組んでいました。



種まき後、苗床を荒らさないように丁寧に水をまきました



熱心に質問する生徒

自由なアイデアが未来の合志市を創る合志市議会報告会

1月31日、合志庁舎で議会報告会が行なわれました。ことしは初めて、中学生と市議会議員が直接対話する形式で開催しました。西合志中学校、西合志南中学校、合志中学校から29人の生徒が参加し、活発な議論を展開。参加した生徒たちは「議員さんたちが優しく、しっかり発言できてよかった」などと感想を述べました。生徒たちは議場でも堂々とした態度で自由なアイデアを発言し、会場を沸かせていました。



参加した生徒会の皆さんと市議会議員の皆さん